

Library Club

第1号 佐賀県立唐津東高等学校・中学校図書館 令和3年6月



新年度が始まって2か月が過ぎました。中高共に新入生のみなさんも学校生活に慣れてきた頃だろうと思います。少し余裕が出てくれば、読みかけていた本を再び手に取ったり、前から読みたいと思っていた本を手に入れて読む意欲もでてくるのではないのでしょうか。

今年も学校図書館を利用してきている人は多く、昼休みなども本を借りに来たり雑誌などを読んでリラックスしたり、または学習をしに来る人も目立ちます。どんな形ででも、図書館がみなさんにとっていい場所であれば嬉しいことです。これまであまり図書館を利用していなかった人も、時々来てみてください。必ずここでしかない発見があると思います。

◎ 本校図書館の利用マナーについて

1000人以上の皆さんが快適に利用できる図書館であり続けるために、「図書館のきまり」を守って利用してください。

図書館利用のきまり

もう一度確認してください！

- 開館時間 8:30～18:00 (学校が休みの日は開館しません)
- 図書館を半分に区切り、西側(入り口側)を読書スペース、東側を学習スペースとしています。席に余裕がある場合は、この区分けに協力をしてください。
- **飲食と私語は禁止です。**学習する人も、質問や教えあいをする人は、廊下にベンチを用意していますので、そちらでしてください。
- 図書館で(貸出せずに)読んだ本は元の場所に返してください。
※返す場所が分からない時は、カウンターの返却用ワゴンに置いてください。



- 貸出は1人5冊までです。
- **2週間以内**に返却してください。

高校クラス読書会

高校1年生『こちらあみ子』 今村夏子 著
高校2年生『こころ』 夏目漱石 著
高校3年生『流れる星は生きている』 藤原てい 著



5月21日(金)に、高校ではクラス読書会が実施されました。この日に向けて、全員が同じ本を読み、資料を参考にして当日の会に臨みました。

会の形式は「自分たちのクラスに一番合ったスタイルで」ということで、各クラスの図書委員が考えて組み立ててくれました。グループ発表型や、まずは板書して全員で意見を共有するなど、様々な形式で実施されたようです。議論と呼べるほどのものにならなかったクラスもあったかもしれませんが、全員が同じ本を一冊読みとおす経験自体が貴重なものであったはずで、また、中学校では今年度こうした機会は設けられていませんが、来年度はぜひやってみようと思います。



◆1年4組 図書委員の感想

良い意見がたくさん出ており、みんなよく読み込めていたと思う。しかし、1年次の初めに行ったためかまだ読みが浅いと感じられる意見もあった。3年次の読書会ではどのような意見ができるようになるのか楽しみだ。普段読むジャンルの本ではなかったため、少し難しいと感じる部分もあったが、これから大人になるにつれて理解できるようになっていけばいいなと思う。

◆2年5組 図書委員の感想

時間が無くなってはいけないと思い、話をはやく進めすぎてしまった。担任の先生には15分も話していただいて感謝しかありません。もっとひとつの意見に対して掘り下げることが出来たらなと思う。

◆3年6組 図書委員の感想

今回が最後の読書会で、たくさんの意見の衝突があって、司会である自分自身も楽しむことが出来ました。特に「残虐な行為をどこまで許せるか」という質問で、人によって許せる範囲が異なり、たくさんの考え方による刺激を受けました。

◆3年生担任の先生の講評

この本を通して、現代でも外国では紛争などが起こっているという事実を認識してほしい。残虐な行為を許せるのか、という問いについても深く考えることで、今後自分がそのような行為をすることはなくなる。本の中のことでなく、自分のこととして考える経験は大切であり、小論文等に活かすこともできるだろう。

